

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 中央化学株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 365-8603 埼玉県鴻巣市宮地 3 丁目 5 番 1 号	
本票作成	部署名：岡山工場 生産技術課				
主たる業種	分類コード	18	業種名：プラスチック製品製造業		
事業の概要	プラスチック食品容器製造				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		美作市北山 3 2 1 番地	
	②	西日本ハブセンター		美作市竹田 1 4 5 - 2 5 番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 <input checked="" type="checkbox"/> (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 2 年度)	(令和 5)年度排出量		目標年度 (令和 7 年度)	
	5,395 t CO ₂	4,370 t CO ₂		5,127 t CO ₂	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(令和 5)年度排出量	
	①	岡山工場		4,310 t CO ₂	
	②	西日本ハブセンター		60 t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
削減目標の達成状況	計画期間： 令和 3 年度 ~ 令和 7 年度 (5 箇年度)				
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(5) 年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 7.0 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産重量 (t)	原単位当たり排出量			
		基準年度	(5) 年度	目標年度	
		258 kg CO ₂ /(t)	276 kg CO ₂ /(t)	245 kg CO ₂ /(t)	
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 5 年度)	達成率等	
【削減状況の自己評価】					
<ul style="list-style-type: none"> ・基準年度より生産重量が減少したことにより、使用電力量が減少。それに伴い、CO₂排出量も大きく減ったが、原単位としては悪化してしまった。 ・空調、変圧器等を省エネ設備に更新、ユーティリティ運用方法の見直し等を行ったが、生産重量減少による生産効率悪化を補いきれなかった。 					

【推進体制】

毎月、省エネ委員会を開催し使用電量の共有、効率的稼働の検討。
 ISO14001取得 環境管理委員会にて動力原単位の改善を目標とし、目標達成に向け取組を実施。
 全社合同で部署毎に改善チームを発足し、生産性向上に向けた取組を実施。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	(令和5年度実施分) ・変圧器3台をアモルファス変圧器に更新 ・チラーユニット1台をインバータ式に更新 ・成型機毎に電力監視装置を設置し、効率運転に向けた分析
岡山工場	(今後実施予定分) ・工水ポンプのインバータ化 ・変圧器3台の更新 ・建屋屋根の遮熱、断熱、放熱の検討
西日本ハブセンター	・事務所棟の蛍光灯をLED灯へ更新

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	有	太陽光設置を検討したが建屋強度不測の為、断念。再生可能エネルギー電力の購入を検討中。

【その他特記事項】

当社の温室効果ガス排出量削減に向けた取組
 ・PET製品の100%リサイクル素材化（2030年度目標）
 ・環境配慮型素材・製品の開発
 ・機能製容器の販売数量増加（2020年度比 8倍 2030年度目標）

岡山工場
 ・岡山県ゼロエミッション事業所認定
 ・外部業者による省エネ診断を実施